

第25回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第25回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」、サブテーマを「エネルギーの安定供給に向けて」として、議論を行いました。
- 今回の研究会では、最初に、事務局から「これまでの経過」として、前回の議論の概要について、報告がありました。
- 次に、九州経済産業局 資源エネルギー環境部の小野 電源開発調整官から、「コージェネレーション等の普及拡大によるレジリエンスの強化」と題して御講演をいただきました。

講演では、レジリエンスの強化に向けた取組みを災害時における活用事例を交えて御紹介いただくとともに、コージェネレーションの普及拡大に向けた課題と方向性について御教授いただきました。

今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、小野 電源開発調整官には感謝しております。
- 次に、九州電力株式会社の穂山委員から、「九州管内における電力の安定供給について」、電力需給の見通しや、再生可能エネルギーの取組みとともに、災害に係る対応状況を情報提供していただきました。
- 次に、西部ガス株式会社の村瀬委員から、「エネルギー供給事業の取組み～西部ガス及び都市ガス業界の災害対策～」について、防災対策の具体例とともに、情報提供していただきました。
- 次に、事務局から「福岡県における地域強靱化計画の取組み～エネルギー分野～」について、説明がありました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、エネルギーの安定供給に向けた地方の取組みについて委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、エネルギーの安定供給に向けた取組みの方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと考えております。